

PDCA部会 令和3年度後期専門部会 議事録

日 時: 令和3年11月25日(木) 18:00~19:00

開催形式: オンライン(WebEX)

参加施設: 愛媛県立中央病院、愛媛大学医学部附属病院、済生会今治病院、
市立宇和島病院、住友別子病院、松山赤十字病院、松山市民病院、
済生会松山病院、市立八幡浜総合病院、四国がんセンター

資料等:

- 資料① QI研究2018年症例の報告
- 資料② がん相談支援専門部会からの報告
- 資料③ 緩和ケア専門部会からの報告
- 資料④ 集学的治療専門部会からの報告
- 資料⑤ 患者体験調査

議 事:

1. QI研究について(四国がんセンター 石川)
PDCA部会の指標として承認された5項目について、四国がんセンターにおける未実施理由の詳細が報告された。

c32_大腸癌への術後化学療法:13件

⇒ 患者希望、多重癌、術後8週間を超えて術後化学療法を施行

QI-100_嘔吐高リスクの抗がん剤へ制吐剤:51件

⇒ 会計処理漏れ、アプレピタント錠が抗がん剤プロトコルにない(婦人科の特定のレジメンで件数が多い)

QI-200_外来麻薬開始時の緩下剤処方:14件

⇒ 他施設で処方、症状が出てから緩下剤を処方している、他は理由不明

st3_切除不能IV期胃がんへの化学療法前HER2検査:6件

⇒ 紹介元で検査施行

st13_化学療法前の血液検査:0件

QI-100_嘔吐高リスクの抗がん剤へ制吐剤 について、他施設と比較して当院の実施率が低い理由(仮説)

- ・当院のプロトコルが制吐剤ガイドラインの作成前であり、改定していない可能性がある
- ・入院治療の比率が高いため
- ・アロキシ注を使っていることで3剤併用は不要かもしれない

フィードバックをすることにより、問題点を探ることができ、次年度への改善に繋げることができる。

2. PDCA活動の具体例

各専門部会におけるPDCA活動について報告された。

1) がん相談支援専門部会からの報告(四国がんセンター 灘野)

5年前からチェックリストを用いてPDCAサイクルを確保しており、がん相談支援の機能強化と相談員の質向上を目指している。チェックリストの項目と内容は、毎年見直しを行っている。

<昨年度の問題点>

- ・チェック項目の見直し:34項目から28項目へ
- ・判断基準の整備:評価指標案の作成
- ・サロン、地域との関係などのコロナ禍での活動
- ・各病院の評価結果の情報共有し検討する場を設ける

<今年度の活動予定・目標>

- ・評価指標の承認
- ・WGでチェックリストの結果を取りまとめる

2) 緩和ケア専門部会からの報告(四国がんセンター 成本)

PDCAサイクルを確保するために緩和医療学会が作成したセルフチェックプログラム(今回は模擬的にセルフチェックリストのみ)を実施した。

<問題点>

- ・緩和ケアチームの活動が他のメンバーに周知されていない
- ・緩和ケアチームの介入は医師からの紹介のみ
- ・症状の緩和に対する緩和ケアチームの推奨が採用されなかった場合の対応
- ・コンサルテーションが主体
- ・処方権がないことが多い、主治医の主体性をどこまで尊重するか
- ・エンドオブライフのタイミングで面会を禁止している
- ・患者、家族の満足度調査を行うことができない

<今後の課題>

- ・今回はセルフチェックシートのみを実施したが、実際に日本緩和医療学会が行っているセルフチェックプログラムに参加することを目標とする
- ・今後も緩和ケアの活動におけるPDCAサイクルを確保できるように継続する
- ・日々の活動を通して、緩和ケアの質の向上を目指す

3) がん集学的治療専門部会からの報告(四国がんセンター 青儀)

年に一度、薬剤部と通院治療室を対象とした抗がん薬曝露対策に関する調査を実施している。

チェックリストを用いることにより、対策の状況を数値化できる。

調査開始から3年が経過しているが、徐々に曝露対策の体制ができつつある。

3. 患者体験調査について(四国がんセンター 寺本)

「がんサポートサイトえひめ」で公開するサンプルページが提案された。

本調査は3年毎に実施されており、愛媛県では現在、拠点病院6施設が参加している。次回か

らは協議会の全施設が参加予定である。

<患者体験調査を用いたPDCA活動と目標>

PD: 今回の患者体験調査(すでに終了)

C: 提言書を参考に重点項目を抜き出し、全国と比較/評価する

A: 対策を立てる→協議会HP & 『がんサポートサイトえひめ』で公開

PD: 次の患者体験調査

C: 前回と比較/全国と比較/評価する

A: 検討結果と対策を協議会HP & 『がんサポートサイトえひめ』で公開

<今後の課題>

・セカンドオピニオン、就労支援、妊孕性温存に関する情報提供について検討する

⇒PDCA部会か相談支援部会か、どちらで議論すべきかの検討も必要

4. がん診療体制の質に関する調査について(四国がんセンター 青儀)

第10回調査への協力を依頼された。(調査票は配布済み)

今回も大腸がんと胃がんは地域調査として参加する。

調査票の提出期限は12月26日とする。

A/Pファイル以外に、簡易版調査票(スタッフ間の意識調査)が完成したので、各科で共有し活用していただきたい。簡易版調査票は12月中に公開予定である。

以上